

令和5年度
盛岡ペットワールド専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和6年3月

令和5年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡ペットワールド専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和6年3月

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

令和5年度 盛岡ペットワールド専門学校 自己点検・自己評価委員会結果報告書

1. 学校の教育目標

「人と動物のより良い関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教育内容(実践型授業の強化、専門授業強化における教員の指導力向上)
- (2) 学生支援(学生のキャリアパスにおける支援内容の体系化の実現)
- (3) 社会的活動

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて 方向づけられているか	4
課 題	学校の教育理念、目標を明確にし、人材育成像を定めている。学校における職業教育 も強化を図っており、学生が働きたいと思う職種、職場を明確にできるように努めて いる。オープンキャンパスやホームページ、SNSを活用し、学校の活動が周知され るようにしている。今後も業界のニーズを把握し、教育活動に取り入れる。	
改善策	業界のニーズを把握しながら、社会で活躍できる人材育成ができるように変化を続け る。学校の理念、目的を明確にし、職員のみならず、学生や保護者にも理解が浸透す るよう努める。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
課 題	運営組織については法人本部と連携し、整備をしている。意思決定機能はあるが、決定までに時間がかかるケースがみられるため改善の余地がある。情報システム化は進められているが、業務の効率化をさらに図りたい。	
改善策	法人本部との連携を見直し、意思決定を速める対策を講じる。情報システム化について外部企業に依頼し、業務の効率化を図っている。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課 題	教員の確保については、学校本部と連携して行っているが、専門性の高い分野のため、人材確保には課題が残る。学生の実家庭環境や学習意欲の違いなど、学生のニーズも多様化している中、教員の学生指導力を強化する必要性を感じている。	
改善策	学校内で職員研修の頻度を増やし、学生指導力の強化を図った。セミナーに参加するなど専門的な分野の研修にも注力する。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	資格取得率は、全ての資格において、全国平均を上回っているものの、合格率の向上には至らなかった。退学率については低減されているが、令和5年度も退学者を出してしまった。卒業生の状況把握を行っているが、全ての状況を把握できていない。卒業生講話を実施し、卒業生の声を聞きながら教育活動の改善をしているが、卒業後教育は実施できていない。	
改善策	資格取得の動機づけ、勉強方法の見直しを図り、合格率を向上させる。入学時に入学する目的を明確にし、学校選びの不一致が無いようにする。保護者との連携を強化し、退学率の低減を図る。卒業生の状況を把握し、卒後教育を実施する。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	進路・就職に関する支援体制はあるものの、100%の就職率につなげることができなかった。卒業生へ求人を斡旋するなどの支援を行っているが、実際の再就職などに繋がるケースが少ないため課題が残る。	
改善策	就職についての動機付けや動き出しを速め、就職率の向上を図る。その中で、学生が抱える課題を見出し、個別に対応する。卒業生への支援体制を見直し、新たな体制を作り支援する。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	4
課 題	新型コロナウイルス感染症の拡大時期に海外研修を中断し、再開できずに現状に至っている。教育上で必要な施設、設備を見直し、整備する必要がある。	
改善策	海外研修の内容を見直し再開時期を検討する。物価の高騰により研修費も高騰していることも懸念材料の一つである。教育課程編成委員会および学校関係者評価委員会のご意見をもとに必要な施設、設備を整備する。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課 題	MC L 専門学校グループと連携し、学生募集をしている。オープンキャンパスの満足度も高く、令和5年度の受験者数は、定員80名中76名となった。別の学校へ流れてしまう高校生もいることから定員数に達するように努める。	
改善策	オープンキャンパスの内容を見直し、参加者の満足度を高める。オープンキャンパスの参加者が増加するように対策を講じる。オープンキャンパスのサポート学生の指導を強化し、参加者へ良い印象を与えるように努める。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課 題	—	
改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課 題	法令等適切に遵守し、運営している。法人本部やMCL 専門学校グループとも連携し、法令等の遵守に努める。	
改善策	自己評価の問題点を洗い出し、令和6年度に改善する。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3
課 題	商店街活性化イベントや動物愛護フェスティバルなど地域と連携した活動やボランティア活動を実施している。地域に対する講座依頼があれば対応しているが、積極的な受け入れはしていない現状である。	
改善策	地域に対する公開講座を企画実施する。地域のニーズを把握し、専門学校がどのような貢献ができるか見直しを図る。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和5年度も「人と動物のより良い関係づくり」をコンセプトに学校を運営してきた。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限がなく、コロナ禍前の活動を状況を見ながら再開することができた。地域と連携した新たな活動にも注力しながら学生の成長の機会を促すことができた。しかし、就職活動、資格取得、教員の確保については、まだまだ改善すべきことがあり、MCL専門学校グループおよび法人本部と連携を強化するだけでなく、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会などから外部の意見を取り入れ、課題解決に努める。

全体的に「3」または「4」の評価としているが、現状維持ではなく、質を高めながら、学校運営に注力する。今後も、地域と接続し、拡張を続け、学校の活動内容を発信しながら、人と動物のより良い関係づくりができる人材育成ができるように活動を続ける。

令和５年度 第１回学校関係者評価委員会

日時：令和５年８月２日（水） １４時～１４：４５分

場所：盛岡ペットワールド専門学校 ４Ｆ ４０１教室

１. 開会・校長挨拶

工藤：昨年度より「愛玩動物看護師」の国家資格試験がスタートし、本校の学生及び卒業生も受験し、合格率は８７．１％という結果。合格率 90%を超える学校もあることから、さらに実績を伸ばせるよう指導について強化して参ります。学生が多様化し、指導やサポートが大変な学生もありますが、教職員一丸となって頑張っています。本日は現場のご意見を頂戴して教育に生かしたいと考えております。忌憚ないご意見をお聞かせください。

２. 委員の紹介

	所属	役職	氏名
委員長	盛岡ペットワールド 専門学校	校長	工藤 昌雄
副委員長	盛岡ペットワールド 専門学校	校長代理	三上 祐太
委員	岩手県獣医師会	会長	佐々木 一弥
委員	岩手大学動物病院	動物看護師	袖林 美波
委員	ちだ動物病院	動物看護師	芦萱 夏海
書記	盛岡ペットワールド 専門学校	事務局	下斗米 恵

３. 令和４年度自己点検評価報告

１. 学校の教育目標

・令和5年度教育方針について説明

コンセプトは人と動物のより関係づくり

3つの柱（基礎的な力、専門授業、実践力）

校内及び校外の実習、イベント、モデル犬実習

人間育成スキルマップについては、定期的に見直し、学科ごとに準備している。
導入してまだ卒業生は出ていないがどんな人を目指してほしいか明確にするようにしている。

2. 本年度に定めた寿天敵に取り組むことが必要な目標や計画

（1）教育内容：教員の指導力の向上・・・オンライン研修を多用している

（2）学生支援：修学支援について有効に活用できるようにしている

（3）社会的活動：ボランティアにも積極的に参加できるように促している

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

（1）教育理念・目標

どんな人材育成をしているか、明文化して広く発信したいと考えている

5学科・・・動物業界で将来的にどんな人材が求められるのか、現状の学科で網羅できていると考えているが、新たに学科新設の必要があるか意見を伺いたい。

（2）学校運営

3・・・MCL 専門学校グループとして、組織の体制強化の必要性を感じている

6.8・・・システム整備、コンプライアンス体制、MCL グループ単位で強化が必要

（3）教育活動

1 4、職員の能力開発について・・・学生指導について勉強の必要性があると考えている

インストラクショナルトレーニング・・・受けるのみではなく、活用できるようにしていく

（4）学修成果

1. 就職率の向上・・・令和4年度については、3月末で1名未内定だった。その卒業生は4月に就職が決まったとのこと。

キャリアプラン・・・就職後、どうしていききたいか？なにをめざすか？自分と向き合うような内容の授業を行うようにしている。

2. 資格取得率の向上・・・VT 国家試験合格率100%を目指している

全国の他校と連携、意見交換を行い、国家資格対策を検討中である。

（５）学生支援

卒業生に対する支援が不十分。コロナ禍で企業訪問が十分にできていない。卒業生に対する支援、どんなものが望ましいかご意見いただきたい。

（６）教育環境

施設・設備・・・全館オンラインの利用ができるように Wi-Fi 環境を整備した。活用については模索中。従前からの課題、看護の実習室、レントゲン室など設備面が不十分。

海外の研修については、以前行っていた「アメリカ・ロサンゼルスでの研修」を再度検討中である。

（７）学生の受入れ募集

令和５年度の入学・・・７７名と定員に近い新入生の人数を確保できている

オープンキャンパスの満足度は高いと感じている。グループ校では募集について苦戦。若者減の時代に対応できるように対策を講じる。

トリマー科が定員超過。ドッグトレーナー科は定員割れ。動物飼育科については定員通り。

（８）財務（９）法令等の遵守

学校法人が主として行っている

（１０）社会貢献・地域貢献

2. ボランティアの要請数が少しずつ回復してきている。社会とつながりながら学生の指導を行ってゆく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「動物飼育科」について、学科名変更後、初めての卒業生を送り出し、専門士の称号も付与した。

「愛玩動物看護師国家資格」について、養成校の認定を受けた。

5. 意見交換

三上：業界として今後必要となるもの能力・職業はあるか？

佐々木様：動物病院として学生のインターンシップ実習の受け入れ・指導を行っているが、

学生が希望すれば入学当初と学科や専攻を変更することは可能なのか（大学であれば編入なども可能）？

三上：転科については可能であるが、学習内容の関係で入学後から期間が過ぎてしまうと難しい場合もある。

佐々木様：初めての看護国試、合格率について思いのほか好ましい結果であり安堵した。獣医師の資格試験について、私立大学では、国家資格の対策委員会を学生が立ち上げ、情報共有を行う。他大学と連携して対策し、合格を目指す。すべての大学で行われているわけではなく、押し付けるものではないが、動機付けにはなると感じている。

芦荳様：動物飼育科の二つのコース設定について良いと思う。ペットの多様化に伴い、エキゾチックアニマルなどについて詳しく学べることは重要。

袖林様：実際に愛玩動物看護師の中でも、本当は動物園や水族館での勤務希望の人がいる。希望の分野へ就職できるチャンスがある学科があるのはいいことだと思う。実習先もちがうので、学科を越えて交流し、意見交換できると良いと思う。

佐々木様：産業動物の実習や見学は普段はできない体験ができて好奇心が満たされるから学生が喜ぶ。数日間であれば、産業動物や大動物、農場実習などやってみてはどうか？葛巻高原牧場などでは以前開催があったと思う。

三上：本校では特別講義などで酪農ヘルパーからの講話を依頼することなどで視野を広げる取り組みも行っている。男子学生を中心に「酪農ヘルパー」等の就職希望者が増えた。

芦荳様：「愛玩動物看護師資格」が国家資格となった。超音波の検査等は実際の動物病院の現場では獣医師の仕事なので、獣医師の業務についても知るために、学生のうちにやる機会をつくってみてはどうか？

三上：「愛玩動物看護師資格」については、学生のうちにどこまでさせるのか、全国的に検討の対象になっているようである。

袖林様：働き方も多様化しているように学生の多様化を感じるが、インターンシップ実習の際の遅刻が散見している。社会人としてのマナーやルールが今の学生には通用しない。動物看護師の技術を教える時間が奪われることから、インターンシップの実習先でゼロから教えるのではなく、学校で教えてきてほしい。

三上：常識の感覚・常識については、学校生活においても課題である。

6. その他

特になし

7. 閉会